

27. 《武蔵国忍城（おしじょう）の水攻め》

1590年（天正18）、豊臣秀吉（生没年：1537－1598年）が関東平定にやってきます。小田原城を包囲し、同時に関東の拠点城を攻撃します。その拠点城の一つが、埼玉県行田市にある忍城です。地元豪族が、1478年（文明10）に利根川の乱流跡に出来た池、沼、深田を巧みに利用し、標高20m程度の低湿地に城を築いたものです。

忍城は、石田光成が大将となって攻撃。その戦法は、20km以上にわたる堤防を築き、荒川や利根川の水を引き込んで、城を湛水させるという水攻め戦略でした。（この堤防は、石田堤と呼ばれ一部が現存。）このとき、忍城主は、小田原城に詰めており不在でした。

小田原城は、ろう城空しく陥落しますが、忍城は、水攻めに耐えて沈まず、逆に梅雨時であったため、水攻め堤防が決壊して石田側に被害が出る始末。城の周辺地域も泥沼化して逆に攻められなくなってしまいます。そこで豊臣秀吉は、小田原城に詰めていた忍城主に頼み込み、忍城を開城させるのでした。（注1）こうして秀吉は、ほぼ無血で関東を平定しました。

小田原城攻略中に、徳川家康（生没年：1543－1616年）は、秀吉から関東移封を命じられました。ゼロからリスタートすることになった家康が取った驚きの統治政策とは、・・・？

なお、水攻めされた忍藩の復興と振興を兼ねたのでしょうか、4年後の1594年（文禄3）に、利根川沿いに築堤して利根川が「会の川」に流れ込むのを防ぎます。（注2）

注1：この忍城攻防戦は、「のぼうの城」という映画になっています。

注2：この事業は、後世に、利根川東遷の最初の土木事業だったと位置づけられます。

写真は、①忍城と水攻めの堤防と会の川締め切りの位置（Yahoo の水系地図に、細見が作図）、②映画「のぼうの城」のポスター（2015/5/9 のマナビニュースHP より）

①



②

